

# 社会福祉援助技術現場実習指導

2単位(選択) 3年(集中, 集中, 後期), 4年(前期)

## 社会福祉援助技術現場実習指導

羽田勝(授業責任者)・教授/口腔保健学科 口腔保健福祉学講座, 竹内祐子・助教/口腔保健学科 口腔保健福祉学講座

**【授業目的】** 社会福祉施設・機関での現場実習の意義を理解し, 実習施設に応じた事前の準備や心構えを習得することで現場実習を実効性のあるものとすることを目的とする。

**【授業概要】** 実習の準備段階から終了まで手順に基づく指導や助言を行い, 実習施設及び専門職としての社会的使命や倫理について教授する。さらに「実習をさせていただく学生」としてあるべき態度・心構えを教授し, 授業で学んだ知識・技術を実践に生かせるように指導する。実習終了後には振り返り・報告会の授業を実施する。

**【授業形式】** 実習

**【授業方法】** 実習形式(視聴覚教材, プリントを適宜用いる) グループワーク, 社会福祉援助技術現場実習の施設終了ごとにふり返りと報告会行う。

**【授業場所】** 共通講義室

**【授業テーマ】** [授業テーマ]

**【キーワード】** [キーワード]

**【先行科目】** [先行科目]

**【関連科目】** [関連科目]

**【履修上の注意】** 社会福祉援助技術現場実習指導の授業では授業計画の「内容」の欄に各講義事項のキーワードを掲載している。①受講者は各回のキーワードについて事前に予習して理解した内容を簡潔に纏めること。②受講者は毎回受講後に学習成果を基にキーワードについて再度内容を簡潔に纏めること。また予習時の内容と復習時の内容を比較して学習成果を確認すること。③試験は全講義数の2/3以上の出席を満たしている者に対して行う。④予習, 復習をすることが出席評価に含まれる。

**【到達目標】**

1. 社会福祉援助技術現場実習の意義や内容を説明できる。
2. 実習施設にあった, 実習目標を立てられる。
3. 実習中の注意点・心構えを説明できる。
4. 実習施設の選定をし, 事前学習・事前訪問を行う。
5. 相談援助の専門職として求められる資質, 技能, 倫理を身につける。
6. 実習記録の記載ができる。
7. 実習内容の発表ができる。
8. 実習終了後の振り返りにより, 学生一人一人が課題を見出せる。

**【授業計画】**

	大項目	中項目	内容	到達目標	担当
1.	社会福祉援助技術現場実習指導(I)	オリエンテーション	実習指導オリエンテーション / 実習スケジュール説明	1	竹内
2.	〃	〃	〃	〃	〃
3.	〃	〃	社会福祉実習の意義 / 実習に対する心構え	3	〃
4.	〃	〃	〃	〃	〃
5~6.	〃	〃	アルバイト・ボランティア・実習の違いについてグループ討論および全体発表(KJ法)	1	〃
7.	〃	〃	実習指定施設の現状や課題の把握 / 職員の専門性を理解する	5	〃
8.	〃	〃	〃	〃	〃
9~10.	〃	〃	学生の立場と果たすべき役割・権利の説明	3,5	〃
11~12.	〃	事前準備(I)	個別面談による実習先希望調査と学生の関心との関係を確認	2	〃
13.	〃	〃	実習先の選定 / 実習の目的及び内容の確認	4	〃
14.	〃	〃	〃	〃	〃
15~16.	〃	〃	実習先への事前訪問オリエンテーション	〃	〃
17.	〃	〃	実習施設概況表作成 / 実習計画書の作成指導	〃	〃
18.	〃	〃	〃	〃	〃
19~20.	〃	〃	実習計画書作成	2,4	〃
21~22.	〃	〃	実習施設事前訪問	4	〃
23.	〃	〃	ハラスメントへの対応 / ハイリスク利用者へのかかわりと感染対策	3	〃
24.	〃	〃	〃	〃	〃
25~26.	〃	〃	実習予備体験報告書作成	4,6	〃
27~28.	〃	〃	実習予備体験に関する個人面談	4,5	〃

29~30.	”	”	実習予備体験後分野別グループ討議・全体発表	4	”
31~32.	”	”	実習指導者説明会 (高齢者福祉分野)	”	”
33~34.	”	”	実習指導者説明会 (障害者福祉分野)	”	”
35~36.	”	”	実習指導者説明会 (児童福祉分野)	”	”
37~38.	”	”	実習指導者説明会 (医療機関)	”	”
39~40.	”	実習ふりかえり (I), 事前準備 (II)	実習記録の記載方法演習 / 実習に向けて注意事項再確認・巡回指導説明	5,6	”
41~50.	”	”	実習目標・課題達成度・実習記録内容確認 / 個人面談 / 中間報告会準備 / 中間報告会 / 後半の実習に向けての準備 (必要書類・注意事項・後半の課題等再準備および再確認)	5,6,7,8	”
51~58.	社会福祉援助技術現場実習指導 (II)	帰校日	健康状態・不安等の確認 / プログラム確認	5	”
59~60.	”	実習ふりかえり (II)	日誌等必要書類の提出・日数・時間数・欠勤等確認	8	”
61~62.	”	”	実習のまとめ・報告書・お礼状の記載方法説明	5,6,8	”
63~64.	”	”	実習全体のまとめ作成	”	”
65~66.	”	”	実習報告書作成	”	”
67~68.	”	”	お礼状作成	2	”
69~76.	”	”	(グループ) 実習計画・内容の報告, 実習体験の分かち合い (印象に残ったこと・困難・良かった経験等), 価値観の揺らぎ・自己覚知の話し合い / (個人面談) グループで報告した内容, 疑問・問題意識の確認, 個人評価と教員評価, 今後の学習課題の確認	7,8	”
77~80.	”	”	実習報告会準備	7	”
81~86.	まとめ	ふり返りとプレゼンテーション	実習報告会	”	”
87~90.	”	”	実習報告集作成	1~8	”

【参考書】 [参考資料]

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=217241>

【連絡先】

⇒ 羽田 (0886622684, hada@dent.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: 月~ 金17:00~ 18:00)

⇒ 竹内 (yu-take@dent.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: 月~ 金17:00~ 18:00)

【成績評価】 授業への出席状況, 態度およびレポートにより総合的に評価する。  
評価は 100 点満点で 60 点以上を合格とする。

【再試験】 行わない

【教科書】 五訂 社会福祉実習 中央法規出版

## 社会福祉援助技術現場実習指導

2 units (selection) 3rd-year(intensive, intensive, 2nd semester), 4th-year(1st semester)

Masaru Hada(Manager)・PROFESSOR / ORAL HEALTH SCIENCE AND SOCIAL WELFARE, SCHOOL OF ORAL HEALTH AND WELFARE, Yuko Takeuchi・ASSISTANT PROFESSOR / ORAL HEALTH SCIENCE AND SOCIAL WELFARE, SCHOOL OF ORAL HEALTH AND WELFARE

**Target)** 社会福祉施設・機関での現場実習の意義を理解し、実習施設に応じた事前の準備や心構えを習得することで現場実習を実効性のあるものとするを目的とする。

**Outline)** 実習の準備段階から終了まで手順に基づく指導や助言を行い、実習施設及び専門職としての社会的使命や倫理について教授する。さらに「実習をさせていただく学生」としてあるべき態度・心構えを教授し、授業で学んだ知識・技術を実践に生かせるように指導する。実習終了後には振り返り・報告会の授業を実施する。

**Style)** Practice

**Manner)** 実習形式(視聴覚教材, プリントを適宜用いる) グループワーク, 社会福祉援助技術現場実習の施設終了ごとに振り返りと報告会を行う。

**Location)** 共通講義室

**Theme)** [授業テーマ]

**Keyword)** [キーワード]

**Fundamental Lecture)** [先行科目]

**Relational Lecture)** [関連科目]

**Notice)** 社会福祉援助技術現場実習指導の授業では授業計画の「内容」の欄に各講義事項のキーワードを掲載している。①受講者は各回のキーワードについて事前に予習して理解した内容を簡潔に纏めること。②受講者は毎回受講後に学習成果を基にキーワードについて再度内容を簡潔に纏めること。また予習時の内容と復習時の内容を比較して学習成果を確認すること。③試験は全講義数の2/3以上の出席を満たしている者に対して行う。④予習、復習をすることが出席評価に含まれる。

**Goal)**

1. 社会福祉援助技術現場実習の意義や内容を説明できる。
2. 実習施設にあった、実習目標を立てられる。
3. 実習中の注意点・心構えを説明できる。
4. 実習施設の選定をし、事前学習・事前訪問を行う。
5. 相談援助の専門職として求められる資質、技能、倫理を身につける。
6. 実習記録の記載ができる。
7. 実習内容の発表ができる。
8. 実習終了後の振り返りにより、学生一人一人が課題を見出せる。

**Schedule)**

	大項目	中項目	内容	到達目標	担当
1.	社会福祉援助技術現場実習指導 (I)	オリエンテーション	実習指導オリエンテーション / 実習スケジュール説明	1	竹内
2.	〃	〃	〃	〃	〃
3.	〃	〃	社会福祉実習の意義 / 実習に対する心構え	3	〃
4.	〃	〃	〃	〃	〃
5~6.	〃	〃	アルバイト・ボランティア・実習の違いについてグループ討論および全体発表 (KJ法)	1	〃
7.	〃	〃	実習指定施設の現状や課題の把握 / 職員の専門性を理解する	5	〃
8.	〃	〃	〃	〃	〃
9~10.	〃	〃	学生の立場と果たすべき役割・権利の説明	3,5	〃
11~12.	〃	事前準備 (I)	個別面談による実習先希望調査と学生の関心との関係を確認	2	〃
13.	〃	〃	実習先の選定 / 実習の目的及び内容の確認	4	〃
14.	〃	〃	〃	〃	〃
15~16.	〃	〃	実習先への事前訪問オリエンテーション	〃	〃
17.	〃	〃	実習施設概況表作成 / 実習計画書の作成指導	〃	〃
18.	〃	〃	〃	〃	〃
19~20.	〃	〃	実習計画書作成	2,4	〃
21~22.	〃	〃	実習施設事前訪問	4	〃
23.	〃	〃	ハラスメントへの対応 / ハイリスク利用者へのかかわりと感染対策	3	〃
24.	〃	〃	〃	〃	〃
25~26.	〃	〃	実習予備体験報告書作成	4,6	〃
27~28.	〃	〃	実習予備体験に関する個人面談	4,5	〃

29~30.	〃	〃	実習予備体験後分野別グループ討議・全体発表	4	〃
31~32.	〃	〃	実習指導者説明会 (高齢者福祉分野)	〃	〃
33~34.	〃	〃	実習指導者説明会 (障害者福祉分野)	〃	〃
35~36.	〃	〃	実習指導者説明会 (児童福祉分野)	〃	〃
37~38.	〃	〃	実習指導者説明会 (医療機関)	〃	〃
39~40.	〃	実習ふりかえり (I), 事前準備 (II)	実習記録の記載方法演習 / 実習に向けて注意事項再確認・巡回指導説明	5,6	〃
41~50.	〃	〃	実習目標・課題達成度・実習記録内容確認 / 個人面談 / 中間報告会準備 / 中間報告会 / 後半の実習に向けての準備 (必要書類・注意事項・後半の課題等再準備および再確認)	5,6,7,8	〃
51~58.	社会福祉援助技術現場実習指導 (II)	帰校日	健康状態・不安等の確認 / プログラム確認	5	〃
59~60.	〃	実習ふりかえり (II)	日誌等必要書類の提出・日数・時間数・欠勤等確認	8	〃
61~62.	〃	〃	実習のまとめ・報告書・お礼状の記載方法説明	5,6,8	〃
63~64.	〃	〃	実習全体のまとめ作成	〃	〃
65~66.	〃	〃	実習報告書作成	〃	〃
67~68.	〃	〃	お礼状作成	2	〃
69~76.	〃	〃	(グループ) 実習計画・内容の報告, 実習体験の分かち合い (印象に残ったこと・困難・良かった経験等), 価値観の揺らぎ・自己覚知の話し合い / (個人面談) グループで報告した内容, 疑問・問題意識の確認, 個人評価と教員評価, 今後の学習課題の確認	7,8	〃
77~80.	〃	〃	実習報告会準備	7	〃
81~86.	まとめ	ふり返りとプレゼンテーション	実習報告会	〃	〃
87~90.	〃	〃	実習報告集作成	1~8	〃

**Reference)** [参考資料]

**Contents)** <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=217241>

**Contact)**

⇒ Hada (+81-886622684, hada@dent.tokushima-u.ac.jp) MAIL (Office Hour: 月~ 金17:00~ 18:00)

⇒ Takeuchi (yu-take@dent.tokushima-u.ac.jp) MAIL (Office Hour: 月~ 金17:00~ 18:00)

**Evaluation Criteria)** 授業への出席状況, 態度およびレポートにより総合的に評価する。評価は100点満点で60点以上を合格とする。

**Re-evaluation)** 行わない

**Textbook)** 五訂 社会福祉実習 中央法規出版